

きもつき119

2020 年度防火標語

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

令和3年2月

第98号



はしご車



救助工作車



化学車



水槽車



タンク車



救急車



原液搬送車



大型化学高所放水車



鹿児島県防災ヘリ「さつま」

編集・発行 大隅肝属地区消防組合

TEL 0994-52-0119

ホームページ (<http://www.fd-kimotsuki.jp/>)

「きもつきしょうぼう」 入力でクリック

当番病院問合せ先

TEL 0994-43-0119

(音声ガイダンスで案内します)

QRコードは
こちら



令和2年12月31日現在

管内人口 137,555 人

男 65,851 人

女 71,704 人

世帯数 69,703 世帯

春の全国火災予防運動実施

令和3年3月1日～3月7日



『鹿児島県』火災原因ワースト3



1位



たき火

2位



火入れ

3位



こんろ

空気が乾燥し、火災が発生しやすい状態が続きますが、ちょっとした不注意や慣れによって火災は発生しています。

3月1日から7日までの間、春の全国火災予防運動が実施されます。この機会にあなたの大切な家族や財産を守るため、今一度、防火について考えてみましょう！

新化学車・新タンク車を配備！



中央化学車



南部タンク車

本消防組合では、中央消防署の化学車と南部消防署のタンク車を更新し運用を開始しました。放水口や計器がすべてシャッター内に収納されていて、見た目は同じに見えますが、機能等には少し違いがあります。常時消火用の水を積載していて、現場到着後すぐに消火活動を開始することができるのは同じですが、化学車は水以外にも泡消火薬剤用のタンクも積載しており、危険物施設等の油火災にも長時間対応できます。

またタンク車は、緊急消防援助隊の登録車両になっているため、全国各地で大規模災害等が発生した場合に要請があれば、鹿児島県隊として出動することになります。

この2台の車両は火災だけでなく、救助や救急支援等の活動内容が多岐にわたるため、消火資機材以外にも多くの資機材が積載されています。

興味がある方は、近くに来られた際には、お立ち寄りください。



スマホや携帯電話からの119番通報 (GPS活用に御協力を)

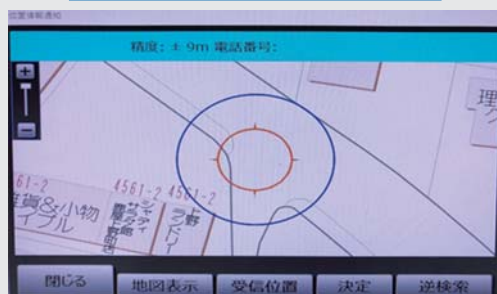


「交通事故」や「道端で人が倒れている」などの119番通報をした時に場所がわからなかったり、近くに目印になる建物がなく、困った経験はありませんか？通信指令室もそういった場合、救急車をどこに向かわせればいいのか、場所の特定に時間を要する事があります。

そこで活躍するのが、GPS機能です！大隅肝属地区消防組合指令課にはGPS機能から場所を特定するシステムがあります。

指令課の指令台で119番通報を受けると、地図等検索装置に位置情報通知画面が表示されます。

位置情報を特定できた場合



位置情報を特定できない場合



GPS測位

GPS衛星

補正情報



119番通報時、GPS機能（位置情報サービス）を活用してみてもはどうでしょうか？通報者の位置、天候、木々の立ち並ぶ山林などの外的要因により正確な位置が判断できない事がありますが、もしもの時にお役に立つかもしれません。

いち早く救急車を現場に向かわせるために御協力お願いいたします。

※必ず特定できるとは限りません。



NET 119 緊急通報システムの運用を開始します！

(令和3年3月1日運用開始予定)



- 聴覚や言語機能の障害によって音声での会話が困難な方
- 音声電話による119番通報が困難な方
- 環境要因によりNET 119 緊急通報システムの利用を必要とする方

音声によらない通報が可能になります。



令和二年十二月十四日、解体予定の南大隅町旧庁舎を訓練用に提供していただき、救助救出訓練を実施しました。

近い将来発生が予想される南海トラフ地震などの大規模災害発生時、迅速かつ的確に連携活動や応援体制が取れるよう努めてまいります。

緊急消防援助隊
合同訓練実施



感染防護衣一式寄贈で地域貢献



令和2年8月19日、南大隅町根占在住の松元 喜則 様から本消防組合に、感染防護衣一式 500 セットを寄贈していただきました。これは、松元様が感染症等の救急活動において、隊員を感染から守り、消防組合の救急体制を確保するために活用してほしいとの思いによるもので、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、少しでも地域貢献したいと思い立ち、寄贈を決めたとのことでした。

頂いた感染防護衣一式は、本消防組合の各署、分署に配布し、救急活動に活用させていただいております。



● 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合の対応

- ・高機能マスク（N95マスク）や状況に応じてシューズカバーを装着するなど、平素よりも厳重な体制を取っています。
- ・病院に搬送中、窓を開放したり換気扇を使用して救急車内の換気を行っています。
- ・場合により、傷病者御本人や救急車に同乗される方にマスクの着用をお願いすることがあります。
- ・傷病者搬送後には、救急車内の消毒を行い、使用した感染防護衣やマスクについては全て破棄しています。



● 住民の皆様へのお願い

- ・感染防護衣を着用していたからといって、必ずしも新型コロナウイルス感染者に対応しているとは限りません。憶測での情報発信等は、誹謗中傷につながるおそれがありますのでお控えください。
- ・感染防止対策は、住民の皆様がいざという時に安心して救急車を利用できる体制を守るためのものですので、御理解と御協力をよろしくお願いします。



火災功労者表彰



令和2年10月29日、鹿屋市寿2丁目で発生した火災現場において、その場に居合わせた兒玉 健吾さん、新政行さんの迅速な消火活動、119番通報により、火災が最小限に食い止められました。

中央消防署は、2人の迅速な初期消火、通報がなければ延焼拡大していたおそれがあるとして、火災功労者として表彰しました。